

Ⅲ プランの推進

このアクションプランでは、教育の実施主体である家庭・地域・学校の取組と、それらの取組を支援するための行政の施策を打ち出しましたが、実際に、それぞれの主体がその役割と責任を自覚し、取組を進めなければ、成果は表れません。また、魅力ある教育環境を整えるためにも、県民や教育関係者のニーズを踏まえながら取り組んでいくことが重要です。

愛知県教育委員会では、家庭・地域・学校での取組を推進するため、各実施主体への働きかけを行っていくとともに、教育関係者と連携しながら具体的な施策を展開し、政策目標の達成をめざします。

1 家庭・地域・学校への啓発、働きかけ

(1) 教育キャンペーンの実施

教育の実施主体である家庭や地域にその役割を認識し、十分発揮してもらうため、キャンペーン活動や各種広報活動などを積極的に行います。

(2) 学校関係者への周知

教育の実施主体として重要な役割を果たす学校に対しても、様々な機会をとらえ、本アクションプランについて周知と取組への促進を図ります。

(3) 産業労働団体、NPO等との連携

産業労働団体、NPO、マスメディア等との意見交換会を開催するなど、教育に関わりのある様々な分野との連携を進めます。

2 行政としての施策の展開

(1) 愛知県としての取組

本アクションプランで掲げた、「施策の方向」に沿って、教育委員会が知事部局、警察本部と一体となって、具体的施策を展開します。

(2) 市町村への働きかけ

家庭・地域・学校の取組への支援として、市町村が果たす役割は大きなものがあります。本アクションプランは、市町村教育委員会とも意見交換を行い策定したところですが、今後も、意見や情報を十分交換しながら連携を強め、県が示した施策の方向を踏まえ各市町村が実情に応じた施策を展開していけるよう、市町村へ働きかけるとともに支援します。

3 プランの進行管理と適時適切な見直し

本アクションプランで掲げた政策目標の達成に向けて、毎年度、施策の進捗状況の把握と評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を公表します。また、プラン策定にあたって助言をいただいた有識者等からも意見を聴取し、必要に応じてプランの内容についての見直しを行います。